

第35回委員会	
開催概要	H22. 9. 30

第35回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件 名		第35回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会
日 時		平成22年9月30日（木） 18：00～20：05
場 所		人権啓発センター 3 階大会議室
出席者	委 員	今井範子、片山信行、木内喜久子、阪本昌彦、笹部和男、佐藤真理、高杉美根子、田中啓義、田中幹夫、三浦教次、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口清和、山口裕司、吉岡正志、渡邊信久 (國領弘治、古海忍、坊忠一、吉田隆一委員は欠席)
	事務局	息田部長、阪本次長、西山参事、吉住参事、堀課長、村田主幹、森嶋補佐、平木主任、仲
	コンサル	館田剛志、大木雄介
開 催 形 態		公開
記録作成者		奈良市施設課
配 布 資 料		資料73 第34回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案） 資料74 先進都市に対するアンケート調査結果〔中間取りまとめ〕
会 議 内 容		
開 会 部長挨拶 1. 議 事 (1) 第34回策定委員会議事録概要版の確認 (2) クリーンセンターの候補地選定について (3) その他 閉 会		

	議 事 要 約 内 容
事務局（森嶋）	● 定刻になりましたので始めさせていただきます。 本日は奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会の第35回目の会合でございます。どうか最後までよろしくお願い申し上げます。
息田部長	「部長挨拶」
事務局（森嶋）	● 本日の出席状況ですが、委員総数21名の内14名ご出席頂いており、本日の委員会は成立していることをご報告申し上げます。 議事進行につきましては渡邊委員長にお願い致します。
渡邊委員長	1. 議 事
事務局（森嶋）	● まず今日の資料確認からお願い致します。 「資料確認」
渡邊委員長	（1）第34回策定委員会議事録概要版の確認
事務局（森嶋）	● 議事録概要版なんですが、何か訂正箇所は入ってきてますか。 ● 現在のところ、特に何も頂いておりません。
渡邊委員長	（2）クリーンセンターの候補地選定について
事務局（吉住）	● 候補地選定の道路問題の件ですけれども、東部の地元さんに話をしに行った訳ですが、その報告をお願いしたいと思います。 ● 東部地区から頂きました申入書に対しまして、今まで策定委員会とか奈良市の道路専門部会で検討してきた結果をお伝えするため東部地区の自治連合会長さんが市役所に来られたときに時間をとって頂き話し合いをさせて頂きました。内容としては、前回の第34回の策定委員会の資料を元に説明をさせて頂きました。その結果、連合会長さんの主なご意見ですが、4車線化がだめという回答だけなら、自治会も含めて住民の方に下ろせないと。できないという回答ではなく、地域の人達に納得してもらうために、道路の安全対策については、こういうことができますよということを示してもらう必要があるという報告がまず一点。二点目としては般若寺交差点から東側の道路ですけど、今まで4車線化ということで青山から県庁東までの4車線化の検討はさせて頂いたんですけども、般若寺交差点から東側の道路についても、アップダウンが多いとか、カーブがきついので車線幅が狭いため2車線といっても危険な状態であるというご意見がございました。最終的には道路問題の解決なしにクリーンセンターの協議には入れないと。特に主として道路問題の解決に取り組んでほしいというご意見を頂きました。
渡邊委員長	● これは実際に説明したのはいつでしたっけ？
事務局（吉住）	● 8月25日に、お時間を頂き策定委員会の委員の代表の方と奈良市の部長を

渡邊委員長	含めた事務局で、ご説明をさせて頂きました。 ● 事務局からの報告ですが、まず拡幅できないということを通告したという形ですね。連合会長さんからは、その状態では地元の話を下ろすことはできない。拡幅できないということだけを言うんじゃないくて安全面での改修とか、何らかの提案を持ってきてくれないと、これ以上は話ができないと、半ばおしかりを受けた感じなんです。般若寺交差点の南北の問題じゃなくて、そこより東側の道路について、いくつも問題があるので、それを考慮してもらいたい。具体的にその般若寺交差点よりも東側をとという話だったと思うんですが。
事務局（吉住）	● 場所を限定ということじゃなかったです。基本的に般若寺交差点の東側についても現在の道路状況は問題があるというご指摘を受けました。
渡邊委員長	● 渋滞するという話を前からやってましたが、渋滞するとかしないとかは、実際にやってみないと分からないとかいう話は特にしませんでしたか？
事務局（吉住）	● 交通渋滞について、お互いに状況を把握するということから、実際に車を走らせてみるというのも一つの方法かなというご意見も出ました。
渡邊委員長	● 車を走らせるっていう実験的なというか、そういうのですね。
事務局（吉住）	● 実際にラッシュ時には交通渋滞が発生している中で、今後クリーンセンターを移設することによって、渋滞がどれだけになるか、実際に車で走らせる方法を社会実験って言うていいかどうか分からないんですけども、そういう検証も必要ではという話もありました。
森住委員	● 事務局の説明で、いいんですけども、補足意見としまして、重要なのは、道路問題の解決なしに建設問題に入れないということは、取り敢えず道路問題を解決してくれと、一定の目途付けてきてくれという意味です。目途が付きましたら、話し合いに入る余地はあると。非常に有難い発言を頂きました。私達はその思いを受け止めて、取り敢えず道路問題については、ここでは議論してもお金が絡む問題ですからできませんね。これについては市に鋭意がんばって頂いて、この問題については地元と十分話し合って、早く目途を付けてほしいということが大事な意見やったと思います。もう一つは、地元と話し合って1カ所に絞るという前提で4カ所にした訳ですね。この話し合いは、道路問題が解決しない限り、その話し合いには入れないという主旨ですから、道路問題について兎に角解決するように私達ががんばるべきであると思います。候補地をさらに絞ることは、私も前は、やったほうが良いと思ってましたけれども、話し合った結果、2カ所に絞るための議論は、今のところ、まだ時期尚早じゃないかと思いました。
渡邊委員長	● 今の森住委員のお話は、この会議の場で道路問題に目途が立たない状態で4つから2つとか1つにするのは筋が違うのではないかというご意見です。
事務局（吉住）	● 交通渋滞の解決策として、実際にどういう対応があるかということで、奈良県と県の交通管制センターの方へ行かせてもらって、具体的なお話をさせ

	て頂いてます。まずこの般若寺交差点の周辺については実際、東部地区の自治連合会から拡幅整備という要望を頂いてますというお話を聞かせて頂きました。以前検討したんですけど、中々用地協力が得られなくて、現在に至ってるということで、ここについては、奈良市さんも協力頂いて、特に般若寺交差点の拡幅、局部改良的な話ですけど、県としても、用地協力が頂ければ対応していきたいというお話をさせて頂きました。他については、ここがカーブがきついとかいう話は具体的にはさせて頂いてないんですけど、もしお話できるのであれば、実際に東部の連合会長さんとお会いして、現場でここをこうしてほしいというご要望については、奈良市からも県へ、依頼という形でお願いできたらと考えてます。それと、ここの交通渋滞についてですけども、前回の資料の中で、信号の処理で何とか対応はできないかという、例えば5秒だけ長くしてスムーズに流せないかという相談はさせて頂いたんですけども、県の管制センターでは、集中管理で信号処理をしまして、特に7時か9時台は、テレビカメラもあり、どれだけ渋滞してるのかは、リアルタイムで分かる対応されてます。中々信号処理で5秒青を長くしたら解消できるという簡単な問題ではありませんと言われまして、改めて対応が考えられるのであれば、また県へお願いにしたいと考えてます。
安田副委員長	● 私、8月25日の自治連合会の皆さんと同席させて頂いてたんですが、一番感じたのは、本当に奈良市はクリーンセンターをほんまに造っていいと思うてるのかと。それが開口一番やったと思います。というのは「4車線化でせえへんかったら、この話はないよ」という要望を出さなかったことに対して、「4車線化は無理やから、勘弁して下さい」という話で終わってしまうんやったら、この話はもう全くクリーンセンターは無理やろうと私は東部の皆さんの声を聞かせてもらったんです。そしたらあかんじゃなくて、その代わりにこんなことならできるよ、こんなことをどんなふうにしていったらいいでしょうという話を具体的に出さない限り、地元で連合会長さんは持って帰れないという話が一番やったと思うので、まず地元の人達に、そしたら話に乗ったろうかなというような話をしっかりと市役所の皆さんと私達が具体的な話ができる状況、道路については具体的な話ができないということで、市役所の方に一旦返して、地元と道についての話をしっかりと進めていってもらえることが、一歩進むことじゃないのかなと感じています。
田中副委員長	● 先程の社会実験やるかどうかという問題なんですけどね、進めていくのであれば、あらゆることをどんどんやっていくという意味で、走らせると、それも市の人と地元の人、あるいは我々もいっしょに同乗して、どこがどの程度混雑しているのか、何が問題なのかを、共感できるというのが必要だと思うし、その後に、部分改良しかできないにしても、ここを変えたらいいじゃないか、ここを広げたらいいじゃないか、バスストップを造ったらいいじゃないかとか、ここの交差点が問題じゃないかとかということも分かってくる

吉岡委員	かもしれないし、そこからまた精力的にできるかどうかを、市の方に一生懸命考えて頂く。それから後は、東部の方に地域振興とかもどう考えるのかっていうのも一緒に考えていく。やるべきこと、たくさんあるけれども、兎に角全部を並行して進めていこうと。やるかやらないかを議論するよりは、兎に角全部やりましょうと、それがいいと私は思います。 ● 田中副委員長のおっしゃった通りなんですけどね。私は前に道路問題という大きな問題が立ちはだかってるので、その岩を壊すためにやるべきことは全部やると。だからシミュレーションも精度上げてやってもらおうと。場合によっては社会実験もやらなあかんのやったらやるべきで、それから道路問題、法令やら何やら、充分東部の方、分かっている話で、市なり策定委員会も、本気度、真剣度をためされてる訳ですね。だからそのつもりで前に進めなきゃなあと。やれることは何でもやっていくという対応をしていかないと、これは進まないと思います。もう一つは、候補地点、4地点ですね、一つの連合自治会の中なんです。これを絞り込むっていうのはどういう方法で絞りこむのかね。私は道路問題の次にそういう話をしたいんですけどね、4地点を絞り込むということは、地域コミュニティを壊すということにつながりますので、私は賛成できない。だから道路問題は、我々委員会の能力を超えてますから、市の方でやってもらわないかん。市の方がやるためには、候補地の方も一緒に返さないと、市の方も対応の仕方がないと思います。だから我々は、どういうクリーンセンターを造るのかとか、地域振興をどうしないのかとかいう段階を考えていくべきじゃないかと思います。それと市がスムーズに検討してくれるように色々チェック、あるいは監視するとか、そういう役割が委員会にあると、私は考えるんですけどね。
森住委員	● 8月25日に参加させて頂いて、4車線化については無理やということはご理解頂いて、その代りにといいますか、369号線の安全対策とか、その辺重点においてくれということで、4車線化については要望を事実上としては下げて頂きましたけれども、口では言えない問題です。口で言うと、それだけ奈良市が樂しますから。だから理屈上はそれを保っておられます。だから、いわゆる感触で、奈良市のことも分かって頂いたんで、それで重点を369号線に置いて頂きたいというふうにとらえました。じゃどこに重点を置いたらいいのかと。般若寺の交差点ありますね、それを言ったら有り難いんですが、それは、あの場では言えないと思います。それを言うということは条件闘争に入ったん違うかと、地元の方がとられますね。そういう意味で、奈良市がどれだけお金をかけて、どれ位直してくれるかということ、先言ってくれと。10年計画でもかまへんけども、兎に角あの道につきましては、こういうことをやらせて頂きますと。それをはっきり言ったらですね、無限大のお金ないの知っておられますからね、奈良市が非常に努力やっておられると、この厳しい財政の中で。こういうことが感触として伝わりました

	ら、私達が一番望んでる用地問題とか施設問題にも入る目途がつくと。そういう意味でおっしゃられたんです。だから第2弾はお金のかかる問題については、明日からでも奈良市は私達の意向を受けて動いてもらおうと。それから渋滞問題につきましては、これは今話し合いの中でも出てきたんですけども、社会実験は、行政が努力を示す意味で、やった方がいいと思ってます。何もやらないで不安が高まってますとね、普通の渋滞でも、余計渋滞に感じるでしょ。体感速度じゃなくて、体感渋滞度ですね。非常に高くなる訳ですよ。そういう意味で、地元の方と一緒に解決するために汗をかくと。社会実験のやり方は、地元の代表者の方と充分詰めた上で、具体的にできることをやっていく、これはアセスメントの一つですから、ここで決議して、やって頂くと決めてもいい問題と思ってます。
渡邊委員長	● 道路は市でやるべきだろうし、自動車の社会実験も必要だろうとは、市役所側も考えていたと思うんですけども、準備状況はどんなものでしょうか。
事務局（吉住）	● 今の社会実験という話ですけども、実施しようとするれば、去年に環境清美センターへの時間ごとの進入並びに出口車両調査をしていますので、この車の台数を確保して、実際に走らせてという方法が、ベターと思うんですが、それを対応しようとするれば、実験に必要な車の台数の確保が、まず大きな問題になろうかと思います。後は、何時に何台車を走らせる走行計画も、立てなきゃあきませんし、併せてその他の実施方法と費用的な問題も検討すべき話で、コンサルも含めて検討させて頂いてるという状況です。今は、いつどうするというお話はできませんけれども、こういう方法で実施しますとか、東部地区の方のご協力を得られるか等も含めて、きっちり整理した中で進めていく必要があろうかと、現在では考えているということです。
笹部委員	● 道路問題等について、できることをどんどんやっていくとか、あるいは市にがんばって頂く。私もその意見に賛成なんです。もう一つ吉岡委員から話があった選定について、今の段階で市の方に返すべきじゃないかっていう、それも私も賛成です。
佐藤委員	● 道路の問題については確かに委員会が予算とか専門的な知識に乏しいとかもあって、それは行政に返すというのは私も理解できるんですが、同じ自治連合会だから、へたなこと言えば却って、その地域の混乱を持ち込むから、これは一緒に奈良市へ返しましょうというのは、この委員会の発足の原点に反すると思うんですね。奈良市行政だけでやれるんだったら、何もこんな委員会作る必要ないんですよ。今の施設老朽化して、とてもここでやれないということで、移転ということを決めて、スケジュールも大枠を決めて。但し、これ全市的な課題だから、公害調停に関わった地元の人達も入るけれども、全市的なメンバーでということを決まったことなんですよ。だから今の現状で4カ所で同じ地域だからって、これを返すのは私は無責任だと思います。いよいよここまで来たら、奈良市も市長を先頭に本腰入れてかかる。我々は

田中副委員長	我々で本腰入れてかかると、両方でいってやっど、何とか市民全体あるいは行政から見ても、適切な用地が決まり、適切なクリーンセンターができると、これにつながるんじゃないかと思うんです。今までの努力を無にしないような形で、私はやってほしいと思います。
森住委員	● 我々がこれからも、この問題にどういう関わり方をするかなんですが、その点について笹部委員とか吉岡委員のおっしゃったこともすごくよく分かります。地元との調整とか道路とかいうのは、市に突っ走ってもらうしかないと思うんですね。 ● 市に任すイメージがかなりずれてると思うんですよ。委員会が一緒にやってという意味は、話し合いの時に一緒に行くだけであって、4つの候補地のどれがいいかは、地元の方から考え方を聞いた上で、こっちの意思決定をするという意味で、私達が関わらないという意味じゃないんですよ。関わり方はあまり変わらないです。市に任すといいますと、私達行かないことになりますね。そうじゃなくて一緒に行くことは行きますけれども、その時に私達で回答できる部分はあります。それは私達が責任をもってやると。特にお金に関わる分は回答できませんからね、そこについては市に腹くくってもらうという意味です。そういうイメージの共同事業であって、どちらが主導権とるかの話と違うんですよ。こういうケース初めてですから。4カ所についてのご意見をお聞きした上で、地元でよう決定できませんという声が返ってきたら、ここで4カ所のうちのどこか選ばばいい訳でしょ。普通はあんな客観的基準を設けて選びますね。例えば奈良市の所有地やったら、お金いれへんとかいうことで、決定しますね。ところが地元から見ましたら、そこよりも、この問題解決してほしいという声が出てきた場合に私らの意見聞かないと、こうなりますね。地元の意見を充分聞いてから意思決定をするという意味で言ってるので、地元決定してもらうのと違うんです。充分意見を聞いた上でこっちで意思決定するんですよ。
阪本委員	● 般若寺交差点から東側の369号線ですね、市の方、早急に交差点の改良さらには狭い所、あるいはカーブのきつい所等々ですね、実際に改良ができるのかできないのか、早急に検討して頂いて、地元の方にも提案して頂いて、またよりよい改善、改良に向かうように動いてほしいなど。冒頭、部長さんから、現清掃工場についてのお話有りましたが、本当に危機感をもって頂いているのかなと。今の清掃工場に何か不具合が生じたら、毎日のごみはどうなるんだというような、本当に一刻の猶予もない時期だと思います。そういう意味では市の方にもっと積極的に考えて頂いて、自分達が先頭になって解決するんだという位の意欲、気持ちを是非見せて頂いて、我々も傍観するんじゃないしに、考えさせて頂きますけれども、まず市の方が、その辺の危機感をもって動いて頂きたいと思います。
吉岡委員	● 4地点の絞り込みについて、地元の意見を聞くというのは、私はやめるべ

佐藤委員	きだと。同じ地域に4地点あるとすると、地域を代表するものとして、個人的な見解は言えますよ、地区の代表者として絶対言えません。コミュニティを壊すようなことは言えません。それに期待したらダメだと思います。 ● 私は先程の森住先生の言われた意見でなるほどなあと。私はあれで分かったんですね。今ちょっと吉岡さんおっしゃったのは、先程のと、ちょっと違うと思ったんですが、それは矛盾してるんでなくて、私どもが公害調停など経て、地元の参加を得て決めると、地元の方の皆さんの意見を聞くというのは、今は4つある訳ですが、その人達にどこがいいんでしょうか、適地なんでしょうかとお聞きして、うちじゃなくて隣のBだとかCだとか、そういう意見を聞くというのは全く考えてません。そうじゃなくて、今4地点でも、ほぼ同じような地域であるんだけど、そこで仮に、どこかは別です。この4地域のどこかに選定をするとすれば、どういう難点があるのか、仮にするとすればどのようなセンターを造る必要があるのか。それが意味では条件ということになるのかもしれませんが、そういうことも含めて、ご意見をお聞きするという事で、最終的に一つということに限る必要はないので、2つということは有り得ると思います。そういう作業をやっていくと。お金の問題は当然市じゃなきゃだめだということは言われましたが、その場合は我々も逃げずに一緒に行って、我々が4カ所に絞った理由は何やということは、むしろ市よりも我々が、自分でやってきたことやから、責任もって答えなきゃいかんし、お金も伴うことであれば、市の方が明確に言うということで、やることは両方なければ、地元の人達の意見を聞くことにもならないだろうし、それを踏まえて、その作業をしていくということで、森住さんのおっしゃった方向になるんじゃないのかなと思います。
安田副委員長	● 皆が皆、奈良市が出番やという話ですが、これまでの委員会の体質として、本当に委員会主導で、例えば奈良市の事務局がこうって言うたら、あんたらそこ黙っときという形がずっとあったので、今こそ奈良市さんが出番ですと、改めて委員会の方からお願いしたいなと思います。
渡邊委員長	● 奈良市さんが、本来の出番でありますよというのは、この9月1日かな、左京地区の周辺の自治連合会からの申入書が出てまいりましたけど、掻い摘んで説明してもらえますか。
事務局（吉住）	● 9月1日に北部地区の5名の自治連合会長さんが、市長に会われ、奈良市長宛と策定委員会の委員長宛の申入書を提出されました。内容を簡単に説明させていただきます。「新しい奈良市のクリーンセンターの建設については、平成17年12月に成立しました、公害調停の条項に沿って策定委員会において検討頂きまして、候補地を現在4カ所まで絞り込まれました。一方公害調停の調停条項の中には平成23年3月末日を目標として新施設の用地を確定すると謳われております。」ということであります。最後の文章ですけれども、「つきましては策定委員会並びに奈良市関係部局が一丸となって、移転建設計画が期

渡邊委員長 森住委員	限通りに実行されますよう切にお願いを申し上げます。」という内容になります。同じ内容で奈良市長宛の文章も同日頂いております。 ● 委員会宛と市長宛で、このような要望書を出されてます。どのような対応をするべきだとか、ご意見がありましたら、ご発言願いたいと思います。
渡邊委員長 阪本委員	● 姿勢としましては、委員会に申入れされてますから、委員長の名前で、何らかの形で回答を返すのが礼儀だと思います。議事録に載ってるからそれでええやないかで済まない話。
渡邊委員長 阪本委員	● 文面を作ってお渡しすることは可能かと思いますが。いかがでしょう。 ● 今の申入書に対して、回答して頂くのは大いに結構だと思うんですけども、この申入書が生きるためには、策定委員会として今後、どういうふうな行動をとるか。例えば会議の回数をもう少し増やすとか。あるいは一カ月、二カ月の間隔でやってますけれども、もう少し期間を縮めて、精力的に、審議するとか、行動で示して頂かないと、いくら文書で回答を頂きましても、地元の人間としては、この申入書が生きてこなければ意味がないと思います。同様に市長宛にも出てるんですけども、市としてどういう行動をとって頂けるのか。その先頭に市長さん自らが、どう関わって頂けるのかと、態度で示して頂かないと、この申入書は生きてこないと思います。
事務局（吉住）	● 奈良市としての考え方ですけれども、まず一点は東部地区の自治連合会からの申入書については、文書で回答はさせて頂いてませんので、できたらそれと同じ対応かなということであります。申入書は、連合会から直接市長が受け取りまして、その後20分間程度意見交換をさせて頂いてますので、改めて文書回答は必要はないかなという考えであります。特に北部地区からの申入書に対して、回答が是非とも必要ということになれば、対応はさせて頂きたいと考えてます。
吉岡委員	● 阪本委員のおっしゃるようにね、態度で示すことが回答になると思うんです。文書云々は、東部の方々には口頭で答え出してますので、同じ扱いにしておくべきだと思います。だから敢えて文書を作る必要はないんだと思います。
笹部委員 阪本委員	● 結果がそれに向かうようにして頂けたら、それで結構だと思います。 ● 先程行動と言いましたが、調停から丸6年経過して、当初の予定では、ぼちぼち土地が決まって、その後の5年間は環境アセスを通して、工場建設に向けての期間だと、10年位を目途に聞いてまして、その内の約半分が終わろうとしてるんですね。地元としては、公害調停という公の約束を市と交わしながら、どうなってるんだと。この文書一枚出たから、急に態度が変わってとは言いませんけれども、市の方と策定委員会が連動して、これまで以上に積極的に考えてくれとすると。でも今こういう問題があって、より慎重な審議をしてるので、若干遅れてるということであれば、納得はできるかと思いますが。ですからこの期間をもっと回数増やしたところで、どうなるものでもないかも分かりませんが、それも一つの示し方ではないかと。も

佐藤委員	う一件、調停条項では、これと並行して、土地の方に目途が立ったら、跡地をどうするかという委員会も別途あるんですね。我々としては、現清掃工場が移転した後、この土地はどうなるんだというのも非常に関心を持って見ております。 ● 結局はですね、地元の意見もお聞きする。地元の人達と意見交換する。先程森住委員の方から、市と当委員会が共同でということ言われました。その通りだと思うんですが。そこが今は、本当に率直に意見交換しようとなっていない訳ですから、そこをどう繋いで行くのが中々難しいところで、市の担当者も苦慮されてると思うんですが、それをやらなきゃいけない。この委員会自体は、多少は数を増やすことも必要かもしれませんが、この規模のこれだけの人数で、しかも公開で回数を今の倍にしたら、それでスピードがいくのかと、私はそうは思わないんですね。市は市で努力されるし、この委員会には、正副委員長を中心に、論点の整理をする。今はむしろ、東部の方々との意見交換をどう繋いで行くかと、そのためには、どういう施設を造るのかとか、処理方式どうするのかとか、施設の規模どうするのかとかいう議論は、もう少しやって、地元の人達にもイメージを受け取ってもらう必要がありますので、そういう作業はやっていく必要があるし、先程から出てる道路問題もやることはやっていくということじゃないかと思います。
渡邊委員長	● この公開の場でこんなこと予定してますと言うよりは、地元と十分に何らかの擦り合わせを行って、それから公開の場で報告という形になるのは、望ましいのかなって思います。
事務局（村田）	「先進都市に対するアンケート調査結果（資料７４）」の概略説明
渡邊委員長 事務局（森嶋）	（３）その他 ● 次々回の日程は１月２１日の金曜日で、予定しておきましょう。 ● 皆様方には長時間に渡りご審議を頂き誠に有り難うございました。尚、次回策定委員会は１１月２５日木曜日の開催でございます。よろしくお願い申し上げます。本日はこれを持ちまして閉会とさせていただきます。どうも有り難うございました。